

水曜会賞講評

水曜会賞の選考対象論文は、坂上研6題(7名)、酒井研7題(7名)、樋山研7題(7名)、上野研10題(10名)の合計30題(31名)でした。平成31年1月24・25日の卒業論文発表会において教員4名で選考し、顕著な成果を挙げた論文として各研究室1題を選出しました。

坂上研究室：前橋さくら君「排水立て管内の流れ特性に関する排水実験」；

15階の実大排水実験棟において、排水立て管内流れを撮影し、流れ特性を3種類に分類し、各々の流速を明らかにしている。

酒井研究室：長尾昂君「半地下空間における送風設備の防露効果に関する研究」；半地下納骨堂を対象に、送風設備の有無が温湿度分布に及ぼす影響をCFD解析により明らかにしている。

上野研究室：内田光菜君「音の箱庭 - 聴覚VRを用いた音空間の制作における

心理的効果の検証-」；3D視聴覚空間インターフェースを用いて聴覚VR空間を製作し、被験者実験を行った結果、音環境体験空間として有用となる可能性を示唆している。

樋山研究室：平井宏美君「住宅におけるエアロゲルを用いた壁体構成の最適化」；エアロゲルを用いた透光壁体を提案し、日射透過性能、断熱性能が優れていることを明らかにしている。

[選考講評 酒井孝司]

平成三十年度事業報告

5月	第1回理事会
6月	総会・講演会・懇親会
7月	第2回理事会
9月	第3回理事会
9月	ゴルフコンペ
11月	第4回理事会
11月	技術見学会
12月	建設業界セミナー
1月	第5回理事会
3月	第6回理事会

令和元年度総会報告

明治大学リバティータワー23階宮城浩蔵ホールにて総会が執り行われ、以下の議題が全て承認されました。

- ①H30年度事業報告及び会計報告の承認
 - ②R元年度事業計画及び予算案の承認
 - ③新理事・新役員の承認
 - ④会則の一部改訂
- (※改訂の詳細はホームページ参照)

会計報告・事業計画

今年度も下記の3つの部会を中心に活動しています。会員の皆様方には行事への積極的な参加をはじめ、さらなるご協力をお願いします。

■運営部会 部会長：戸邊 和幸

会員相互の交流と親睦を図ります。

○総会後に懇親会を開催

○ゴルフコンペ開催

■研究部会 部会長：荒井 義人

講演会・見学会などの企画をします。

○総会開催日に合わせて講演会を開催

○技術見学会の開催

■広報部会 部会長：久保 隆太郎

○第22号会報の発行

○HPの管理

○新ゼミ生へ建設業界説明会を開催

平成30年度会計報告

平成30年度会計報告			
収入の部	予 算	決 算	備 考
1 前年度繰越金	551,464	551,464	
2 会費(110人分)	330,000	324,000	106人より
3 懇親費用(差額)	0	116,580	
4 銀行利息	10	2	
合 計	881,474	992,046	

平成30年度会計報告			
支出の部	予 算	決 算	備 考
1 水曜会賛助費	85,000	81,232	2万円×4本、賞状代金
2 懇親会費用	52,000	51,624	
3 平成30年度総会案内発送費	76,000	75,265	往復葉書60枚+宛名シール
4 会報21号作成発送費	130,000	123,920	印刷、封筒切手、搬込用紙
5 会議費(理事会回)	60,000	38,410	4回ノアール会議室使用
6 通信費・雑費(慶弔費)	8,000	3,611	サーバー代(ホームページ)
7 新ゼミ生交流会	50,000	0	12月13日開催(懇親会無)
1 ~7計	461,000	374,062	
8 次年度繰越金	420,474	617,984	
合 計	881,474	992,046	

令和元年度予算案			
収入の部	予 算	備 考	平成31年4月1日～令和2年3月31日
1 前年度繰越金	617,984		
2 会費(110人分)	330,000		
3 銀行利息	2		
合 計	947,986		

令和元年度予算案			
支出の部	予 算	備 考	
1 水曜会賛助費	85,000	2万円×4本、賞状代金	
2 懇親会費用	56,000		
3 令和元年度総会案内発送費	76,000	一部メール配信対応	
4 会報22号作成発送費	130,000	会報作成理事作業による減額	
5 会議費(理事会回開催)	20,000	主として、大学施設を利用	
6 通信費・雑費(慶弔費)	8,000	ホームページ更新委託費用	
7 新ゼミ生交流会	0	昨年同様に懇親会は開催なし	
8 次年度繰越金	572,986		
合 計	947,986		

年会費納入のお願い

水曜会の活動は年会費のみにて運営しています。郵便局用の振込用紙を会報とともに同封いたしますので、会報受領より1ヶ月程度でお振込をお願いします。振込用紙の通信欄に卒業年・研究室名の記入もお願いします。銀行口座への振込みも可能です。なお、銀行口座の受取人名は従来通りです。

明大建築学科環境設備系OB、OGと学生達の連繋を保つ本会の継続と最低限の運営のために、ご理解とご協力をお願いします。

【年会費納入先】

◇年会費：正会員(卒業生)・会友共3,000円

◇振込先：以下のいずれかにお願いします。

振込先A：(郵便局から振り込む場合)

口座番号 00120-7-407637 明治大学水曜会

通信欄に卒業年・研究室名の記入をお願いします。

振込先B：(銀行から振り込む場合)

・北海道銀行 札幌駅前支店(店番号151)

普通預金 1950593 内田臣哉

振込先C：(銀行から振り込む場合)

ゆうちょ銀行 ○一九店(店番号019)

当座 0407637

◇問合せ先：事務局長 小野浩己(☎070-6568-9753)

明治大学水曜会会報

第22号

発行所 明治大学水曜会
http://meiji-suiyoukai.com
発行者 内田 臣哉
編集者 増田 強志
発行日 2020/1/1

会長挨拶
水曜会会长 内田臣哉

会の成立条件に関する会則を改訂しました。多様な職種や立場で活躍される会員の皆様に対し水曜会発足当時は、紙ベースを主とする通知連絡手法でしたが、今日多岐にわたる方法にて情報連携が取れる時代となりました。年に数回開催する理事会においても過半数の出席が難しくとも、事前事後に議題提供し幅広く情報の共有が可能となっております。活動状況はホームページ等を利用して、明大ラグビー部のボール回しを彷彿させる縦横無尽に素早く発信出来るよう改善してまいります。

事前に予定されたことではありますが新天皇が即位され元号も新たに令和となりました。水曜会員の皆様におかれましては良き年で有ったと祈念いたします。但し如何ともし難く、新元号となつても豪雨に大型台風、記録的・過去最大級などと枕詞が付く自然災害が続いてしまいました。ご親族や見知り合いの方々が被災されたしまったやも知れません、この場を借りて哀悼の意を表します。

技術見学会報告

2019年度の技術見学会は、11月5日に「株式会社テクノ菱和R&Dセンター」を見学させていただき、OB・OG16名、学生10名の計26名の方に参加いただきました。

テクノ菱和R&Dセンターは、AIを駆使した独自開発のクラウド型BEMSやIoTなどの様々な最新技術を活用し、快適性と高い省エネ性能を両立した環境配慮型の研究開発施設であり、BELS評価★5およびNearly ZEBに認証されています。見学会ではまず始めにOBでテクノ菱和にご勤務され、R&Dセンターの設計をご担当された増田さんにR&Dセンターの概要説明をしていただいた後に、クリーンルームをはじめと

酒井先生を始め各理事より、各担当の強いサポート力で碧落の地でも会長職を続ける事は可能であると理事出席者過半数未満の理事会にて否決されました。会長の関東不在は本人にも想定外の事です。東京2020は、おそらく札幌の地にてテレビ観戦となるでしょうが(チケットが当たらなくて辛いでし)私が最も強く希望したマラソンは現地で観戦できそうです。10年前の事務局長時に那覇、そして今回会長職での札幌異動。

『人間万事塞翁が馬』なるようになる流れに身を任せるのも一興ですが、輓近何かしらのフォース(力)が働いているとしか思えないのです。Jedi Master ヨーダもこう言っています。

"No! Try not. Do. Or do not. There is no try."

先述のラグビーのくだりと紛らわしくなっていましたが、TRYではなくDO「やります!」残り1年半、この地で会長職を全うする所存です。その為にも皆様のご支援ご鞭撻が必要です。何卒、宜しくお願い致します。

会長 内田臣哉[1988貝塚研卒]

体験をすることができました。

見学会終了後は懇親会を開催し、OB・OGと学生による親睦を深めることができました。次年度も多くの会員の方の参加をお待ちしております。最後になりましたが、今回の見学会に多くご協力をいただいた伊豆丸さん、増田さん、ありがとうございました。

研究部会 生田紀夫[1999坂上研卒]



講演会概要

「オフィスを対象とした新しい建物評価ツール」久保隆太郎（ものつくり大学技能工芸学部建設学科准教授、2000年加治屋研究卒）

日本では2001年から建築環境総合性能評価システムであるCASBEEが開発され、新築建築物だけでも400件以上の建物が認証されるなど広く普及している。また、建物を評価するツールとしては、LEEDやBREEAM、JAFMES13をはじめ、日本のみならず世界中で開発されている。これらの建物評価ツールは省資源・省エネルギー性や室空間の快適性を評価する評価項目を中心とし、建物性能を評価するシステムである。さらに、アメリカでは2014年にWell Building Standardが開発され、これまでの評価ツールでは扱われていたなかったNourishment, Fitness, Mindなど、ワーカーの健康性や企業の運用状況などを評価対象とする新しいツールが普及し始めている。

一方で、UNEP FI（国連環境計画金融イニシアティブ）と国連グローバル・コンパクトにより策定されたグローバル・ガイドラインにおいて、ESGの課題に取り組むことが明記されたことが引き金となり、不動産市場でもESG投資が浸透し始めている。

重要!

坂上先生退任記念会案内

2020年3月末でご退任されます坂上先生の最終講義と記念祝賀会を開催いたします。皆様ご多用のことと存じますが、ご聴講ならびに祝賀会へのご参加を検討頂き、連絡先(右記5)へメール返信①講義・祝賀会共に参加②講義のみ参加③祝賀会のみ参加④記念誌のみ購入を明記)をお願いします。

就職活動ガイダンス

2019年12月18日、毎年恒例となっておいる新ゼミ生対象の建設業界セミナーを生田キャンパスで開催しました。小山理事からの水曜会と建設業界全体の説明の後、各業界の具体的な仕事内容の説明を行いました。本セミナーは今年で12回目を迎えます。設備系研究室の卒業生といえど、近年では建設業界以外への就職も多く、少しでも人手不足の建設関連業界に興味を

また近年では、安倍政権のもと「働き方改革」が進められる中、生産性の向上が強く求められるようになっている。

このような背景から、国交省はESG投資の普及促進に向けた勉強会を発足させ、オフィスワーカーが知的生産性を健康な状態で実現するためのとりまとめを2018年3月に発表している。これを受け、日本サステナブル建築協会（JSBC）では、日本版Well Building StandardともいえるCASBEE-Wellness Office（以降、CWO）を開発している。このCWOの評価項目は、健康性・快適性のための取り組み、利便性向上のための取り組み、そして、安全性確保のための取り組みを評価する項目を設け、これまでの快適性に加え、健康性やレジリエンスなどが盛り込まれ、ワーカーの働きやすさや安全性を向上する取組みを評価する項目を設けている。また、建物の運営管理やオーナーやテナントが実施するメンタルヘルス対策や医療サービス、健康増進プログラムの有無などを評価する項目があるなど、建物だけでなく、運用におけるプログラムの有無を多角的に評価する項目を有している。

一方で、UNEP FI（国連環境計画金融イニシアティブ）と国連グローバル・コンパクトにより策定されたグローバル・ガイドラインにおいて、ESGの課題に取り組むことが明記されたことが引き金となり、不動産市場でもESG投資が浸透し始めている。

2019年12月現在、CWOは建築物省エネルギー機構（IBEC）が中心となり先行認証が始まり、多くの建物オーナーやテナント

に着目されている始めている。オフィスワーカーの健康性維持・向上は企業の生産性、収益性向上に直結すると考えられるため、今後、CWOによるオフィスの評価はますます増えていくものと考えられる。



▲オフィス内のリフレッシュエリア



▲執務室内に設けられた屋内階段

写真出典：国土交通省HP
https://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo05_hh_000149.html

【1.日時】

2020年3月14日（土）

15:00～19:00

【2.会費】

①③10,000円、②④5,000円

【3.最終講義】

リバティータワー1階1011教室

【4.記念祝賀会】

リバティータワー23階

岸本・宮城・矢代ホール

【5.連絡先】

坂上先生退任記念会事務局
sakaue.retiremennt@gmail.com

【6.問合せ先】

生田紀夫（18期）

norio-shoda@asahikogyosha.co.jp

吉田孝之（2期）

taka-yoshida@nomura-re.co.jp

水曜会ホームページ

水曜会ではホームページを開設しています。最新情報を都度更新しておりますので、ぜひご確認ください。



明治 水曜会

検索

持ててもらえるよう、皆さん様々な資料を使って説明していました。今後も学生の就職活動のサポートを続けてまいりたいと思います。[2011加治屋研究卒]

【 今回説明者一覧 】

ディベロッパー：戸部OB(2012)、エネルギー供給：高島理事（1996）、設計事務所：大石理事(2015)、ゼネコン：宮塚理事(2015)、サブコン：増田(2011)

環境系研究室紹介

●建築設備研究室

[教授 坂上恭助]



本研究室では、修士1名、学部生9名の計10名と坂上先生で、給排水分野の研究に取り組んでいます。人の水使用を中心に、水利用のあり方、それらを実現する給排水衛生設備の構成等について学んでいます。2019年度の研究内容は、「サイホン排水システムの基本特性」、「蒸発速度の算定式の導出」、「洗面器における水位上昇の防止の検討」「病院での給水量の実測」、「水使用の実態調査」です。OBや企業の方の協力のもと、実験や調査を行っています。坂上先生は今年で御退職のため、10名で協力して研究室の一斉清掃も行っています。

M2:竹原勲、永沼直人 M1:長尾昂 卒論生:金子雅樹、近藤由一、瀬戸郁、朴志殷、福永涼乃、牧野裕也、山田航太、山本悠以、吉田雄紀

●建築環境計画研究室

[教授 上野佳奈子]



建築環境計画研究室には、今年度4年生10名、大学院生6名が在籍しています。

近年力を入れている保育施設の音環境改善については、保育室内で静かに過ごせる居場所づくりや子ども対象のワークショップなど、保育現場の支援に取り組んでいます。また聴覚過敏などをもつ発達障害者のための取組みとして、放課後等デイサービス事業所での環境づくりを行っています。三次元音場再現システム音響樽を用いた研究として、共在感覚生成を目指した会話環境の構築と評価、リラックスを目的とした自然音とHMD映像による効果の検証、音場シミュレーターを用いた演奏の感情的影響

に取り組んでいます。主な研究内容として、「実大床暖房模型内における熱の鏡面反射の測定」、「集合住宅の換気性能と遮音性能に関する研究」、「日傘の日射遮蔽性に関する研究」、「冷房時における送風機の快適性向上効果のCFD解析」、「CFD解析の汎用性向上のためのチュートリアルと整備に関する研究」、「つくば未来センター棟におけるクールトレンドの冷房負荷削減効果の検証」、「ダブルスキンによる日射遮蔽効果の検証」等が挙げられます。実験の設置等、協力し合いながら各自の課題に向けて研究に励んでいます。

●建築環境デザイン研究室

[准教授 横山恭助]



本研究室は創設4年目となりました。海外からの研究員や、社会人ドクターを迎える、所属人数も増えたこともあり、昨年にも増してにぎやかな研究室となりました。また、研究テーマの幅も広がり、昨年度から引き続き、ダイナミックインシレーション窓の建物への適用研究としてオフィスや住宅への適用検討、島しょ部におけるゼロエネルギー化に関する研究、未利用エネルギーを活用したオフィスビルの最適運用計画をシステムシミュレーションツールを用いて検討する研究等に取り組んでいます。

また新たなテーマとしては、機械学習による環境系シミュレーション初期モデル構築システムの開発やBIMとシミュレーション連携に向けたLODの設定の検討など高度な情報技術を扱う研究も増えてまいりました。研究室一丸となり、研究に取り組んでまいります。PD:チサムシルテエンタヤウ D1:竹内健一郎M2:沢潟裕一、長濱温人M1:船橋俊樹、スウケツB4:神長慧、小林拓真、中井麻友香、平木貴之、幸加木慶太、齋藤健太、田中薫、黄曉淘、高沢南斗、金承惠

優勝 小山['82] ゲロ91 ネット73

準優勝 岸山['88] ゲロ104 ネット73

第3位 戸邊['82] ゲロ87 ネット78

その他の参加者は以下の通りです。

常田['61] 平川['66] 加治屋['70] 平松['79] 後

藤['82] 吉田['83] 上藤['84] 岸山['86] 酒井['90]

2020年も9月末頃に開催を予定しております。お気軽に幹事までご連絡ください。

幹事 運営部会 戸邊和幸[1982篠原研卒]

